

## 雲仙岳の火山活動解説資料（平成 21 年 5 月）

福岡管区気象台  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。  
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

## ○ 5 月の活動概況

## ・噴煙など表面現象の状況（図 2）

噴煙は観測されませんでした。

## ・地震や微動の発生状況（図 2、図 3）

火山性地震の月回数は 3 回（4 月：6 回）と少ない状態で経過しました。震源は平成新山直下の浅いところに求まり、これまでと比べて特に変化はありませんでした。

火山性微動の発生はありませんでした（4 月：なし）。

## ・地殻変動の状況（図 1、図 4）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

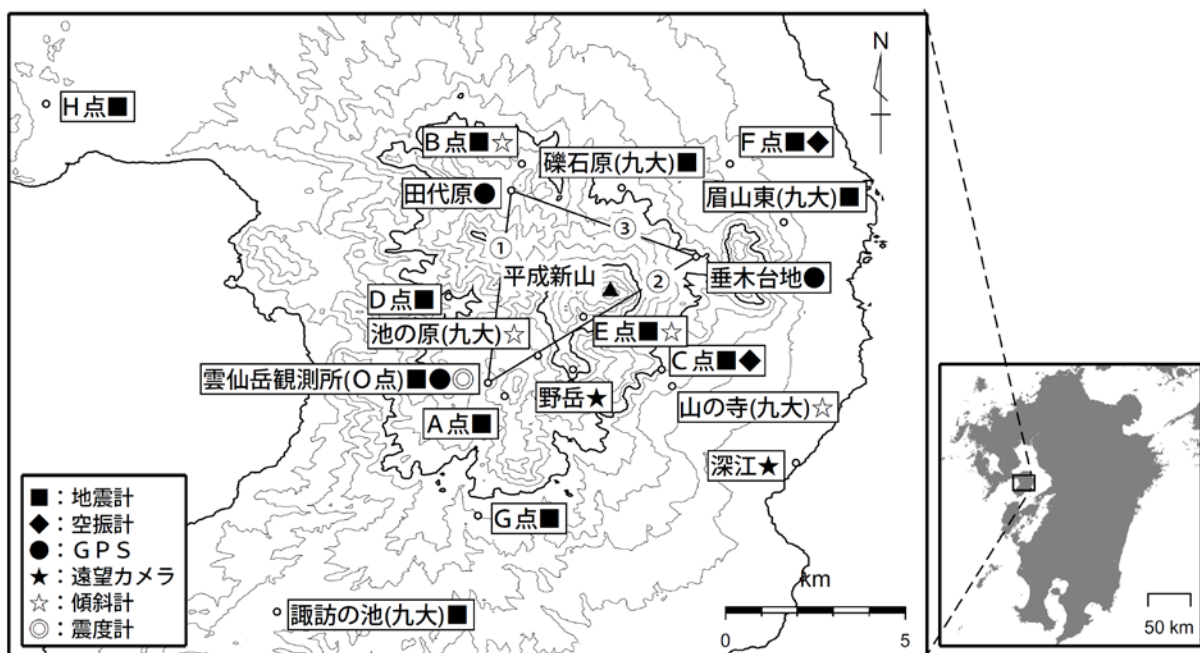


図 1 雲仙岳 観測点配置図

※この資料は気象庁のほか、九州大学のデータを利用して作成しています。

地図の作成に当たっては、国土地理院長承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

この火山活動解説資料は、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）、福岡管区気象台ホームページ（<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 21 年 6 月分）は平成 21 年 7 月 7 日に発表予定です。

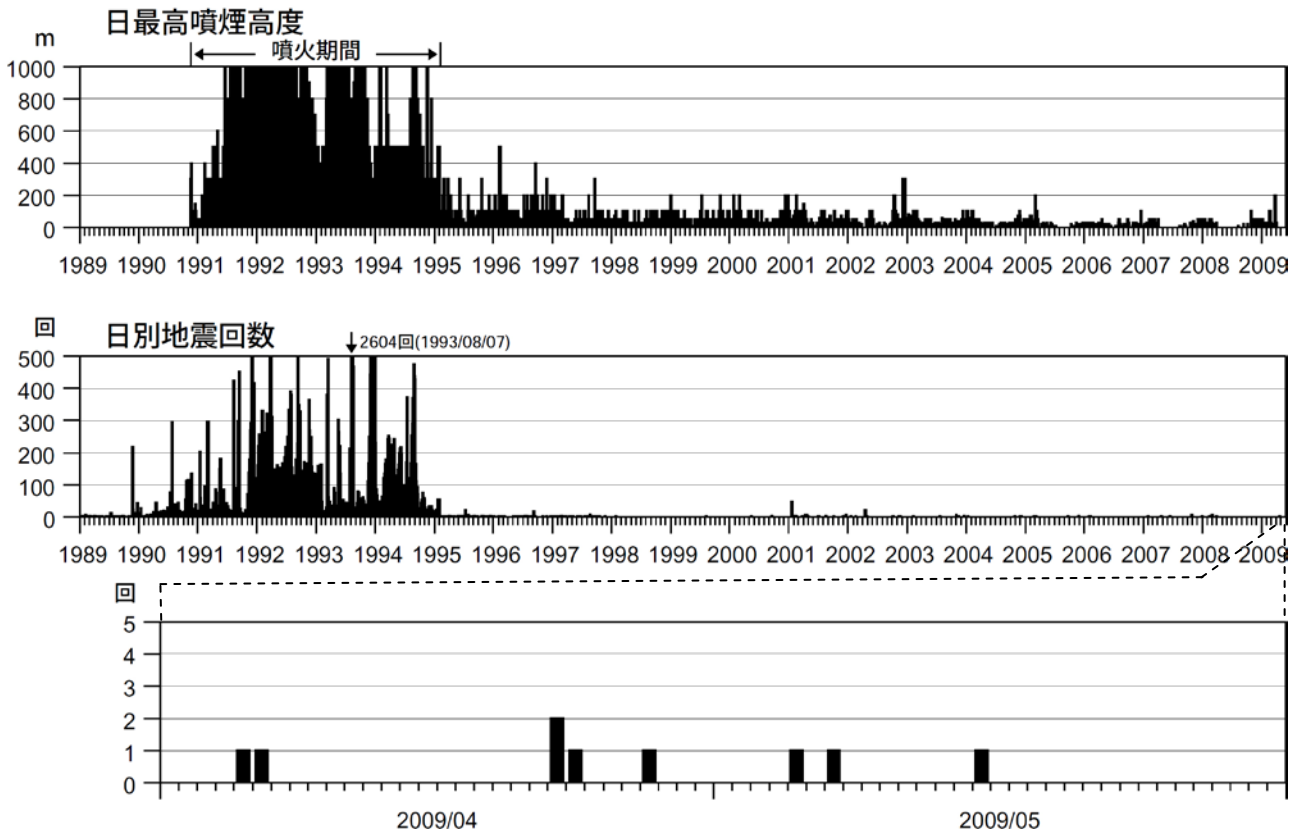


図 2 雲仙岳 火山活動経過図 (1989 年 1 月～2009 年 5 月)

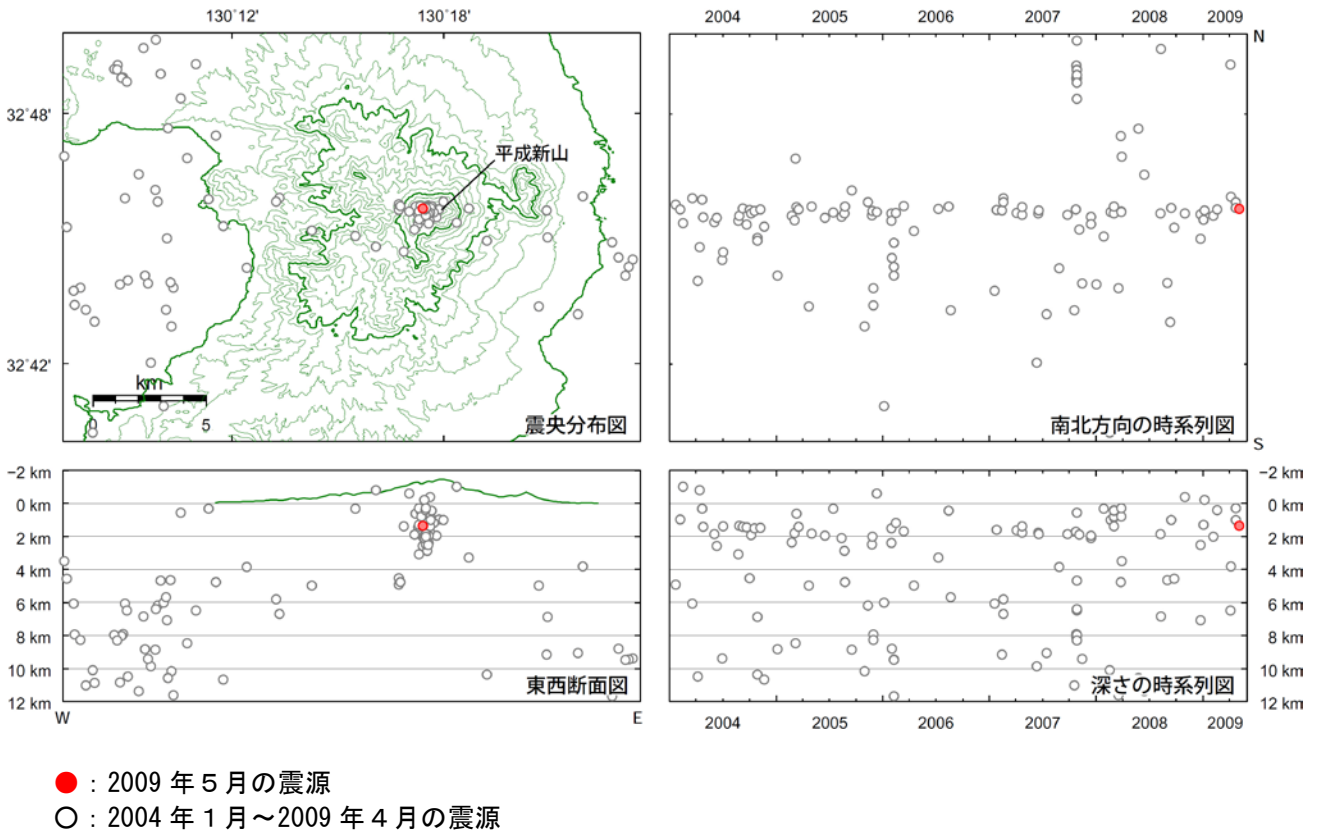


図 3※ 雲仙岳 震源分布図 (2004 年 1 月～2009 年 5 月)  
震源は平成新山直下の浅いところに求まりました。

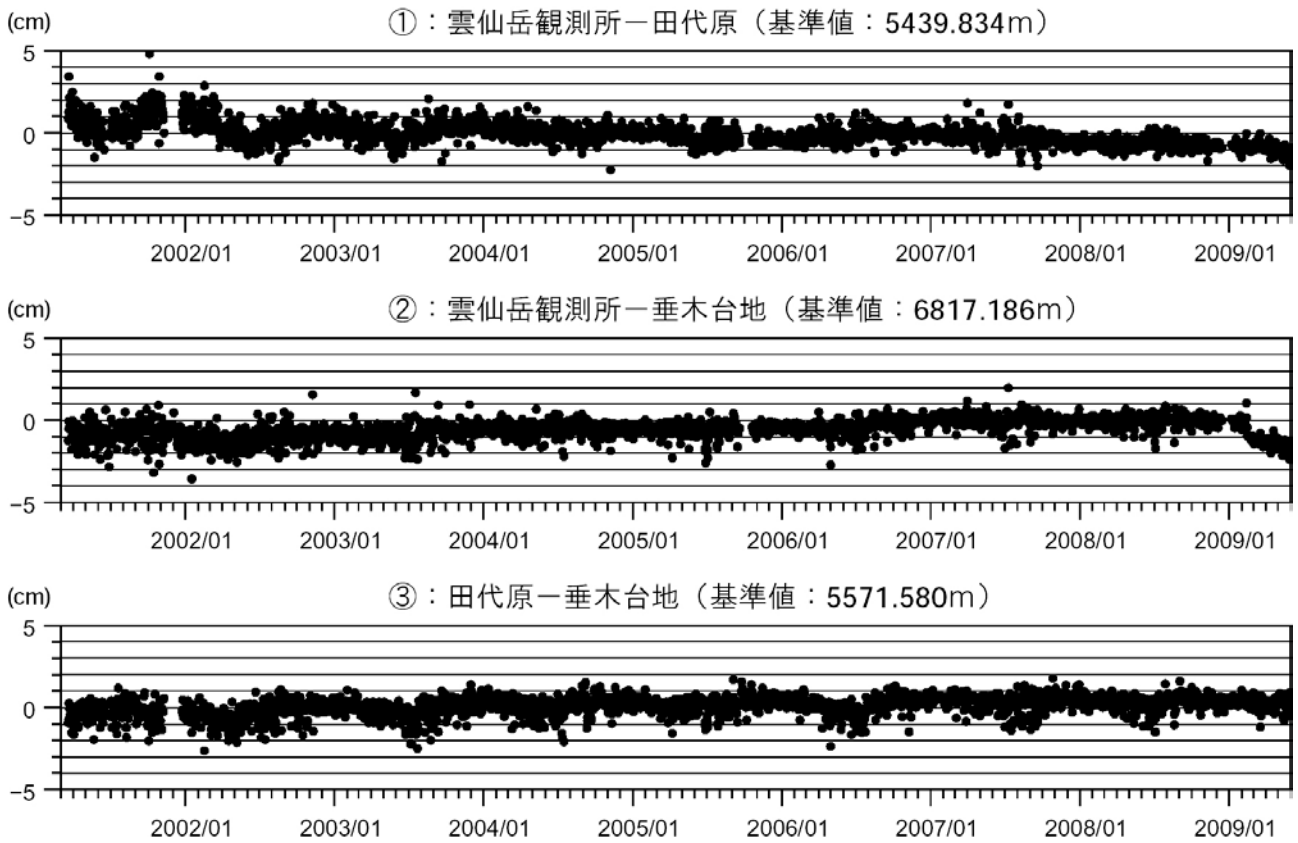


図 4 雲仙岳 GPS 連続観測による基線長変化（2001 年 3 月～2009 年 5 月）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この基線は図 1 の①～③に対応しています。

①、②の 2 月からの変動は、雲仙岳観測所の庁舎解体に伴う変動と考えられます。